

平成 30 年度使用第 9 地区教科用図書採択理由

第 9 地区教科用図書採択教育委員会協議会

第 9 地区に送付された教科用図書見本本並びに教科書編集趣意書、北海道教育委員会作成の採択参考資料、第 9 地区教科用図書調査委員会作成の調査研究報告書並びに各小委員長への質疑等をもとに、第 9 地区教科用図書採択教育委員会協議会において総合的に審議を行い、平成 30 年度から使用する教科用図書について、次の理由により全会一致で採択した。

小学校用教科用図書

特別の教科 道徳	光村図書出版	<p>内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題解決的な学習については、各学年に、自分ごととして考えることができる発問を示す「考えよう」を配置し、自分との関わりで道徳的価値を捉え、自分なりに発展させていくことへの思いや課題が培われるように工夫されている。 ・体験的な学習については、各学年に、役割演技を通して道徳的価値の理解を深める「考えよう」、「つなげよう」を配置し、体験的行為や活動を通じて学んだ内容から道徳的価値の意義などについて考えを深めるように工夫されている。 <p>自らを振り返るための工夫については、各学年に、「学習のまとめり」の区切りに道徳で学んだことを記録する「学びの記録」を配置し、自らの道徳的な成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりすることができるようになっている。</p>
---------------------	---------------	--

特別支援学級用教科用図書

特 別 支 援	偕成社	<p>「日本の絵本 100かいだてのいえ」 100階建の家の最上階に住む誰かから手紙を受け取ったトチくんが、手紙の差し出し主を訪ねる物語である。 ページをめくると動物や部屋の雰囲気が違うため、次は誰が住んでいて、どのような部屋なのかなど、期待感をもって学習に取り組めるよう配慮されている。 本は縦開きの見開きで高さを感じるつくりとなっており、主人公と一緒に階段を昇っていく気持ちになるよう工夫されている。</p>
	日本教育研究出版	<p>「ひとりだちするための国語」 「基礎を学ぼう」(基礎)と「国語力をつけよう」(応用)の2部構成となっており、個々のニーズに応じてどこからでも、段階的に学ぶことができるよう配慮されている。 「聞く」「話す」「読む」「書く」を横断的に学ぶことで、会話や読書、作文などに楽しく興味をもてるよう構成されている。 見開き1ページに必要な内容が整理されており、見通しをもった取り組みができるよう工夫されている。</p>
	合同出版	<p>「えでわかるこどものせいかつずかん1 みのまわりのきほん」 服を着替えたり、お手伝いをしたりするなど、朝起きてから寝るまでの家の中での生活習慣に関する動作についてイラストで分かりやすく示されている。 見開きのページに一つの場面が描かれており、こんなときはこうすると具体的に学習できるよう配慮されている。 イラストで描かれた生活場面を、自身の経験と重ねることで動作が身に付くよう工夫されている。</p>

特 別 支 援	小学館	<p>「ドラえもんちずかん1 につぼんちず」</p> <p>ドラえもんやその仲間達と一緒に、前半は、日本全国8地域を巡りながら、気候や自然、名所、特産品などを学び、後半は季節や食べ物をテーマに地域差を知るよう構成されている。写真と絵が多く使用されているが、全ページにわたり、平仮名と片仮名で表記されるなど、読むことにも配慮されている。</p> <p>各ページのクイズに回答することで、自ら調べたり、学習内容を振り返ったりすることができるよう工夫されている。</p>
	小学館	<p>「ドラえもんちずかん2 せかいちず」</p> <p>前半は、世界を6つの地域に分け、世界中の国名や暮らしなどを学び、後半は、世界の料理や家、衣装など特徴が、見開きページで学習できるよう配慮されている。</p> <p>写真と絵が多く使用されているが、全ページにわたり、平仮名と片仮名で表記されるなど、読むことにも配慮されている。</p> <p>各ページのクイズに回答することで、自ら調べたり、学習内容を振り返ったりすることができるよう工夫されている。</p>
	ひかりのくに	<p>「マナーやルールがどんどんわかる！ みちかなマーク新装改訂版」</p> <p>マックンが、忍者のマークのスケと一緒に身近な生活にあるマークを探しながら、意味を学んでいく内容となっている。施設や乗り物、標識、商品についている様々なマークを登場人物とともに、マークに関する知識を学べるよう配慮されている。都道府県のマークや国旗も掲載されており、日本や世界に興味・関心をもちやすいよう工夫されている。学習したことが、今後の生活において意欲的に気付きを深められるよう構成されている。</p>
	小学館	<p>「デコボコえほん かずをかぞえよう」</p> <p>ページをめくるごとに描かれているものの数が1から順に増えていき、最後は10で終わる構成となっている。数えるものが同じ大きさの円形で飛び出していたり、数字が凹んでいたりと、指でなぞりながら数の学習ができるよう配慮されている。数が一つずつ見開きで構成されているため、数の概念と数字を関連付けて学べるようになっている。本全体が厚手の紙で作られており、凹凸が触って楽しめるよう工夫されている。</p>
	学研プラス	<p>「あそびのおうさまずかん12 リサイクルこうさく 増補改訂」</p> <p>ペットボトルや新聞紙など、子どもが生活する中で目にすることが多い日用品を材料とした工作が紹介されている。</p> <p>材料や完成作品は写真で、作り方は文字と絵で順序立てて示され、幅広い発達段階の子どもに対応できるよう配慮されている。</p> <p>のりやはさみなどの道具の使い方のこつやリサイクルの方法にも触れられており、さまざまな場面で活用できるよう工夫されている。</p>
	小学館	<p>「あーとぶっく ひらめき美術館第1館」</p> <p>著名な画家の絵画や彫刻について、テーマに沿って分かりやすく解説されている。口語体で語りかけるような文章と手書き風の文字から、作品を身近に感じ、自分自身の生活経験と結び付けながら作品を鑑賞できるよう配慮されている。説明文は、ポイントとなる言葉が朱書きされていたり、全ての漢字には振り仮名が付けられていたりするなど、工夫されている。書いて考えさせるページもあり、読み手の感性が豊かになるよう構成されている。</p>